

水道料金のあり方についての答申(案)

追加資料集

1	建設改良費（R2～R5）について	1
2	岐阜市内の公共施設の水道使用状況について	2
3	市民意見交換会の開催について	4
4	水道料金・下水料金等の収納について	8
5	井戸水を水道利用に置き換えた場合の水道料金について	9
6	「令和2年度に策定した財政計画」と「実績及び今後の見込と計画」との 比較について【令和6年度収支見込】	10
7	労務費及び材料費の上昇について	11
8	水道事業財政計画（案）について	12

建設改良費（R2～R5年度）について

水道事業

（単位：千円）

	R2年度 （決算）	R3年度 （決算）	R4年度 （決算）	R5年度 （見込み）
建設改良費	2,452,399	3,030,528	2,668,391	3,918,971

下水道事業

（単位：千円）

	R2年度 （決算）	R3年度 （決算）	R4年度 （決算）	R5年度 （見込み）
建設改良費	3,299,711	2,521,481	3,063,378	3,577,649

岐阜市内の公共施設の水道使用状況について

調査対象施設

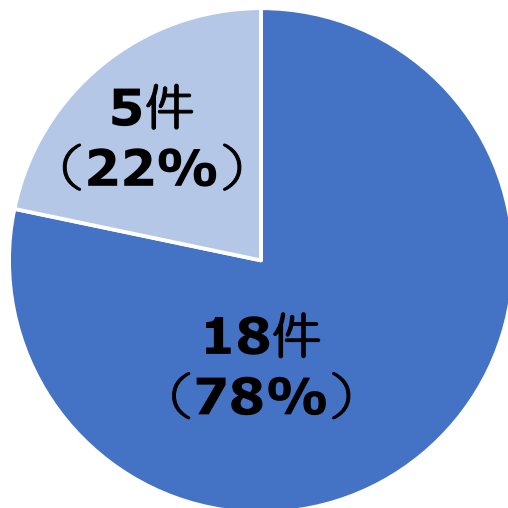
- ① 上下水道事業部で契約がある者
- ② 下水道契約者のうち水道契約がない者（井戸水のみ使用者）

水道契約の無い公共施設

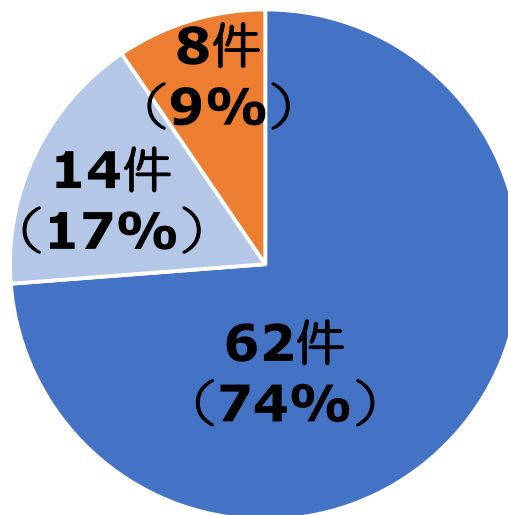
岐阜県	・ OKBぎふ清流アリーナ ・ 岐阜県シンクタンク庁舎 ・ 岐阜県警察機動隊 ・ 岐阜羽島警察署 ・ 岐阜県福祉・農業会館 ・ 岐阜県総合教育センター ・ 岐阜県中央家畜保健衛生所 ・ 岐阜県農業技術センター
岐阜市	・ 岐阜市中央卸売市場 ・ 岐阜市食肉地方卸売市場 ・ 柳津公民館 ・ 旧養護学校

岐阜市内の公共施設の水道使用状況について

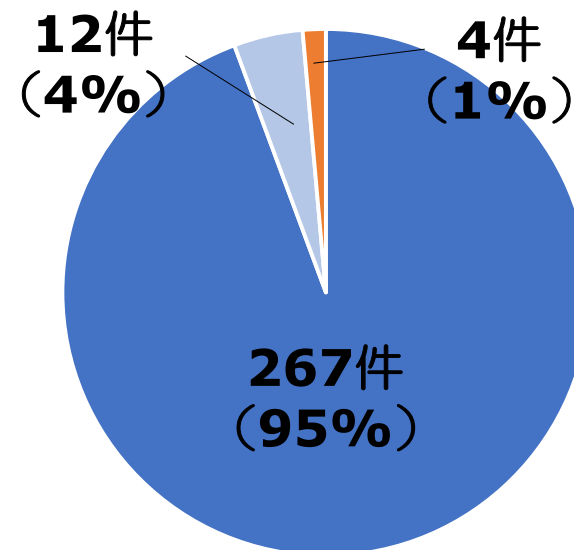
国の主な施設



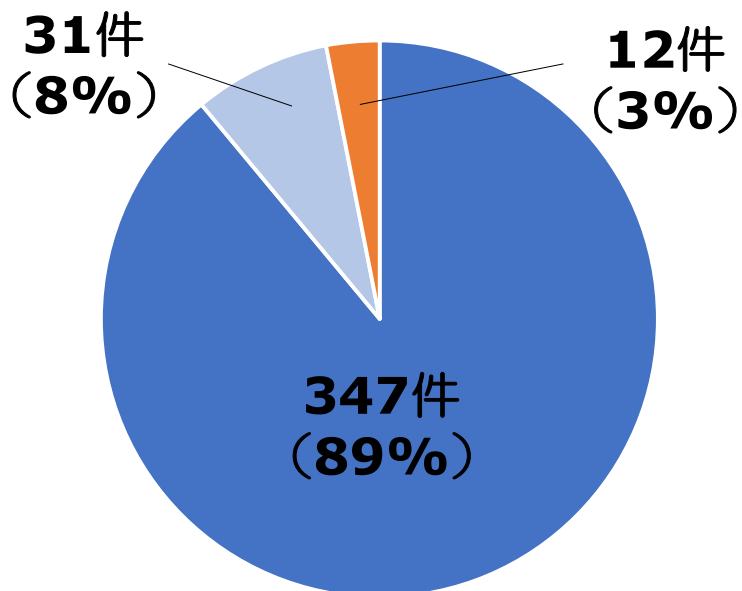
県の主な施設



市の主な施設



岐阜市内の主な施設



- 水道のみ
- 水道・井戸水併用
- 井戸水のみ

1 市民意見交換会の開催状況

1) 開催概要

- 「岐阜市未来のまちづくり構想」に基づく上下水道事業部の取り組みについて、自治会連合会単位で意見交換会を開催
- 上下水道事業部職員が公民館やコミュニティセンターへ出向き、上下水道事業の現状及び取り組みについて説明
- 質疑応答やアンケート調査を合わせて実施

2) 説明内容

- 「岐阜市未来のまちづくり構想」、「岐阜市上下水道事業経営戦略」について
- 岐阜市の水道事業について
- 岐阜市の下水道事業について

3) 参加状況

- 市民意見交換会（令和5年7月7日から10月7日）
 - ・開催地区 計44地区（白山、本郷、城西、長森北、加納西、岩野田北、岩、他）
 - ・参加人数 計1,046人
※上記の他、資料配布のみ 5地区（配布資料632部）
（京町、長良、長良東、長良西、鶯）
- 上下水道事業モニター及び施設見学会（令和5年8月27日）
 - ・参加人数 計121人（上下水道事業モニター 18人
施設見学会：鏡岩水源地 48人 北部プラント 55人）
- 参加人数合計 1,167人



3 市民意見交換会でいただいた主なご意見（アンケート回答を含む）

施設の老朽化・耐震化について

- ① 上下水道管（設備）の老朽化は、十分に理解している。先延ばしにせず、計画的に行ってもらえるのであればいいと思う。特に管についてはしっかり更新して欲しい。大規模災害や大雨にも耐えるように整備してもらいたい。
- ② 維持管理や更新、耐震化、計画的な整備や長寿命化を推進して、安全安心に住み続けられる街にして欲しいです。
- ③ 更新率1%では時間がかかるため、国、県等に予算の助成を強く要望して頂きたい。
- ④ 上下水道の使用水量の減少等理解できましたが、老朽化、耐震化等の費用等については、よく検討していただきたいと思います。
- ⑤ 上下水道は生活に欠かさない施設であり、今後も維持管理を実施していただきたい。
- ⑥ 老朽化による漏水や止水が発生する可能性が高い中、漏水の調査結果や進捗状況を何らかの方法で公開すると市民全般的意識も高まってくると思う。

上下水道の料金について

- ① 安心安全の為に料金値上げも仕方ないと思います。
- ② 東海地震等が予想されている状況があるので、更新を早急もしくは予定の前倒しでお願いしたい。使用水量が減っている現状を踏まえ、水道料金の値上げはやむを得ないと思う。
- ③ 水道管の漏水はできるだけ減らしてほしい。そのために水道料金を上げてほしいと思います。
- ④ 老朽化対策、利用水量の減から料金の改定が必要ということですね。反対はしませんが、必要最小の範囲でお願いします。
- ⑤ 最近の災害による断水や水に困っているニュースを見ると耐震や新しい設備への変換は必須だと思います。そのために利用料金が値上がりするのは致し方ないと思いました。
- ⑥ 市民の生活にはライフラインの維持は必須です。必要な費用はしっかり確保し、事業を継続するようお願いいたします。
- ⑦ 人口減少、施設の老朽化が進みますが、経費節減、事務効率化に努めてください。
- ⑧ 料金の値上げはやめてほしい。
- ⑨ なんでも値上げされるので、せめて水道料金の値上げは避けてほしい。
- ⑩ 老朽化対策の必要性は理解したが、水道料金、下水料金の値上げが心配。

その他ご意見

- ① 水は最後のインフラであり、将来的にも民間へ委託することは反対です。
- ② 岐阜市は水源地の水質が良いので、水道水がおいしく飲むことができありがたい。
- ③ 道路を掘らなくてもいい配管の補強技術を進めていただきたい。
- ④ 居住地域は市街化区域ではないが、下水道を敷設してほしい。
- ⑤ 大変重要なことなので、更に周知をさせていく活動が必要だと思います。

2 アンケート調査結果

1) 回答者数

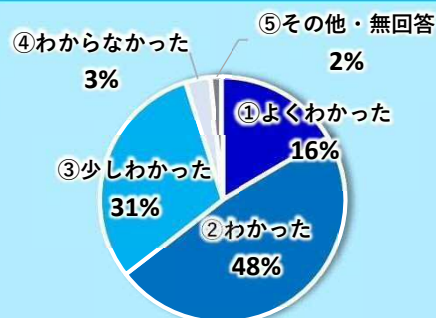
計 881人

【回答者年齢】

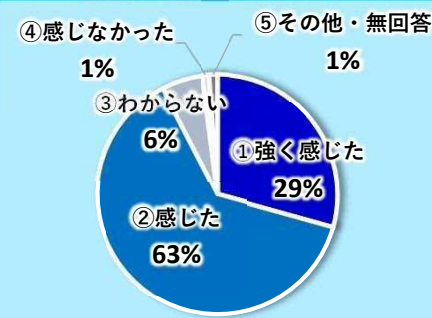
2) 回答結果



質問1：市民意見交換会での説明内容について



質問2：岐阜市の上下水道施設の老朽化対策・耐震化の必要性について



Gifu MIRAI Book「岐阜市未来のまちづくり構想」岐阜市の将来像 ”人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち”を目指した上下水道事業部の取り組み

【問い合わせ先】
〒500-8156 岐阜市折年町4丁目1番地
岐阜市上下水道事業部 上下水道事業政策課 企画係
TEL：058(259)7878 FAX：058(259)7522

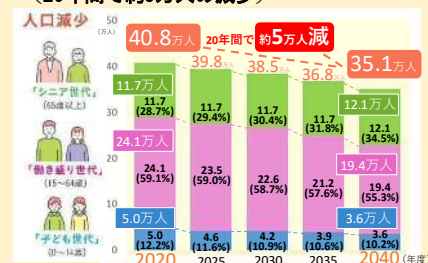
「岐阜市未来のまちづくり構想」 2022年2月策定

本構想は、岐阜市の将来像と、その実現に向けた「まちづくりの方向性」を示す総合的な方針です。本市の自然や伝統文化、都市機能などを活かしながら、2040年頃に『人がつながる創造が生まれるしなやかさのあるまち』になることを目指します。

(1) 課題 (一部掲載)

①人口減少

✓市の総人口は減少すると推計されています。
(20年間で約5万人の減少)



出典：岐阜市住民基本台帳 (2025年度以降は岐阜市推計)

③公共施設等の老朽化

✓市の建築物施設のうち、建築後30年を超えるものは、約60%を占め、老朽化が進んでいます。
(上下水道施設は含んでおりません。別添資料をご参照ください。)

(2) 将来像の実現に向けたまちづくりの方向性

①まちづくりの基本的な考え方

- 1 オール岐阜のまちづくり
- 2 シビックプライドの醸成
- 3 DX (デジタルトランスフォーメーション) と脱炭素化
- 4 持続可能で選ばれるまち

②分野ごとのまちづくりの方向性 (上下水道事業に関連する記載の抜粋)

市民協働・防災・環境

〇いのちと暮らしを守る防災

- ・道路や橋梁、上下水道などの適切な維持管理や更新、耐震化、計画的な整備や長寿命化を推進するとともに、住宅や多くの人が利用する建築物の耐震化を支援

都市基盤整備・交通・中心市街地活性化

〇住み続けられる安全・安心なまちづくり

- ・市民の誰もが住みたいと思う魅力あるまちを実現するため、道路や河川、公園、上下水道、ごみ処理施設などを適切に整備し、都市環境や都市基盤の効率的かつ効果的な維持・更新を図る
- ・将来にわたって安定的かつ持続可能な上下水道事業に取り組み、ライフラインとしての機能を維持するとともに、衛生的で快適な都市環境を実現する
- ・良質で豊富な長良川の伏流水や地下水を活かしつつ、水質管理の充実や強化等を図り、安全でおいしい水の供給を図る

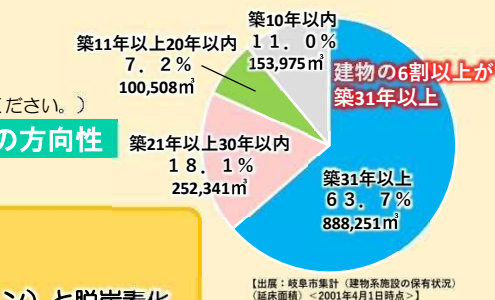
②防 災

✓南海トラフ地震が発生した場合、大きな被害が発生すると予測されています。

〇人的・物的被害

全壊	11,255棟
建物被害	
半壊	31,874棟
焼失家屋	293棟
人的被害	
死者	412人
発生時刻 夕方6時の場合	
負傷者	4,118人
発生時刻 午前5時の場合	
避難者数	約34,300人
発生時刻 午前5時の場合	

出典：岐阜市地震被害想定調査 (2020年12月)



【出典：岐阜市集計 (建築物施設の保有状況) (延床面積) <2001年4月1日時点>】

「岐阜市上下水道事業経営戦略」 2020年2月策定

経営理念

「水」を通じて、当たり前の暮らしを未来まで支えます

24時間、365日

～水道・下水道によって、安全・安心・快適な生活を支え続けます～

基本方針① 施設の機能維持 ～適切な維持管理、老朽化対策、強靱化～

✓上下水道施設の適切な維持管理を確実に行うとともに、大規模災害時においても機能を確保できるよう、老朽化対策や耐震化などに取り組んでいきます。

【水道管路の強靱化】



金華地区配水幹線布設工事

【鏡岩水源地区管理棟改築工事】



現在の管理棟 昭和48年竣工 (築50年)



建設中の新管理棟 令和6年完成予定

【下水管渠の強靱化】



中部幹線バイパス管工事

【老朽化が進む下水処理施設】



北部プラント 昭和41年供用開始 (築57年)



南部プラント 昭和48年供用開始 (築50年)

基本方針② 財政基盤の強化 ～支出減・収入増による持続可能な財政基盤の確立～

✓能率的かつ合理的な事業運営に努めるとともに、持続可能な財政基盤を確立します。

基本方針③ 組織の整備・人材育成 ～組織体制の見直し・職員育成～

✓職員研修等の実施、適正な人員配置、技術・技能の継承などに取り組めます。

基本方針④ お客様の信頼醸成 ～わかりやすく積極的な広報～

✓積極的な情報発信、お客様の意見の聴取と寄せられた意見等の事業への反映に取り組めます。

上下水道事業は、地方公営企業として、受益者である利用者の皆様からいただく料金収入によって、サービスの提供に係る費用を賄う受益者負担の原則のもと事業を運営しております。
上下水道事業部では、上下水道を身近なライフラインとして、24時間、365日、休むことなく市民の皆様の快適な生活を支えていくため、施設の計画的な更新と適切な維持管理などに取り組んでおります。
市民の皆様におかれましては、上下水道事業の現状及び取り組みをご理解いただき、今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

岐阜市の水道事業について

概要

本市の水道は、昭和3年に鏡岩水源地の建設工事に着手して以来、良質で豊富な長良川の伏流水や地下水を水源としています。

現在では、地形や施設の効率性を考慮して、給水区域を6つに分け、17箇所の水源地と21箇所の加圧施設、40箇所の配水池を配置しています。

水道は、生活に不可欠な水を安定的に供給する施設であり、安全な水道水を供給することで皆様の快適な生活を支えています。

○ 水道管総延長：約2,419 km

(参考) 水道管の総延長は、新函館北斗(北海道)～鹿児島中央駅間(鹿児島県)の営業距離(約2,326km)とほぼ同じです。

○ 水源地：17箇所
○ 加圧施設：21箇所
○ 配水池：40箇所

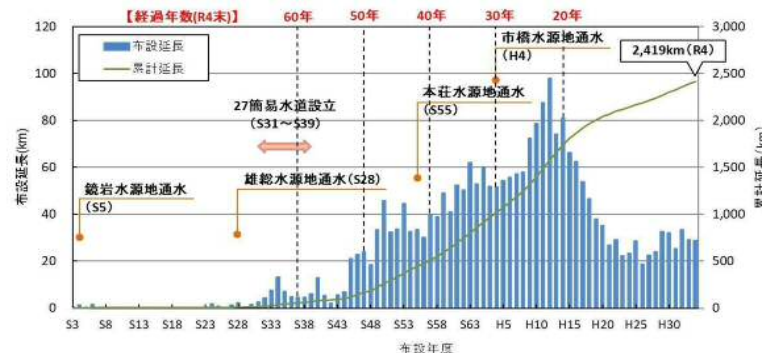
○ 水道普及率(給水人口/総人口)

343,091人/401,294人=85.5%(令和4年度末)

水道区域図 (令和4年度末)



水道施設の老朽化・耐震化状況



耐震化の状況

○ 水源：浄水施設の耐震化率

【H30】

44%

22%UP

【R4】

66%

○ 配水池：配水池の耐震化率

68%

8%UP

76%

○ 基幹管路：基幹管路の耐震化率

46%

1%UP

47%

(令和4年度末の基幹管路延長は、132km)

○ 管路全体：管路全体の耐震化率

18%

5%UP

23%

【R6(予定)】

鏡岩水源管理棟の改築後は、

28%UP

94%

本荘配水池の耐震化後は、

5%UP

81%

年間約2.4km(更新率1%)

の水道管を更新

水道施設の老朽化

老朽化の状況 (40年経過管延長)

【令和4年度末】

総延長の21%(約512km)

更新しない場合、20年後には…

【令和24年度末】

総延長の72%(約1,740km)

老朽管からの漏水



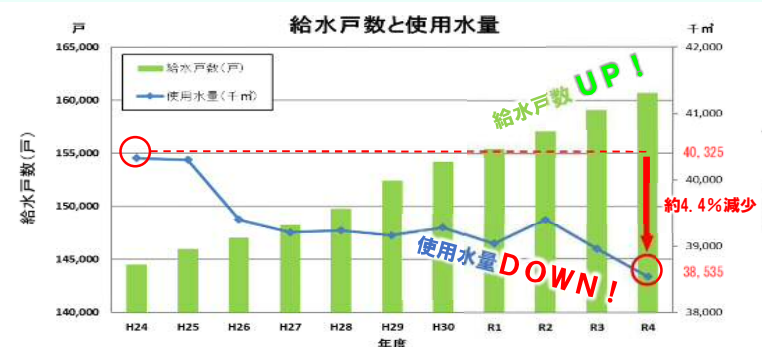
水道施設の老朽化



柳津水源管理棟(現在)

老朽化対策、耐震化を進めるため、今後も計画的に改築・更新に取り組んでまいります。

水道の利用状況



【令和4年度】

○ 給水戸数

約160,711戸

○ 年間使用水量

約3,853万m³

○ 1戸月当たり平均

・使用水量

約20m³

(風呂1回200ℓ×100回分)

・水道料金

約2,930円

給水戸数は増加している一方、人口減少や節水型社会の進展により、さらなる使用水量の減少が見込まれる中、今後経営が厳しくなると予想されるため、事業の効率化や経費の削減に努めるなど、持続可能な水道事業の運営に取り組んでまいります。

水道料金の算定期間は、「水道料金のあり方について(令和2年度上下水道事業経営審議会答申)」により、令和3年度から令和6年度までの4年間と設定されております。このため、令和6年度、「水道料金のあり方」について、庁内での検討を行い、岐阜市上下水道事業経営審議会において審議していただく予定であります。

岐阜市の下水道事業について

概要

本市の下水道は、昭和9年に当時では画期的な汚水と雨水を分けて処理する分流式下水道を日本で最初に採用しました。

現在では、処理区域を5つの処理区に分け、4箇所の下水処理場と2箇所の汚水ポンプ場を配置しています。

下水道の整備により、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全など、皆様の快適な生活に寄与しています。

- 下水道管渠総延長：約2,253km
(参考) 下水道管渠の総延長は、新函館北斗(北海道)～鹿児島中央駅間(鹿児島県)の営業距離(約2,326km)とほぼ同じです。
- 下水処理場：4箇所
- 汚水ポンプ場：2箇所
- 下水道普及率(下水道管渠が整備された地区に住む人口/総人口)
377,800人/401,294人=94.1%(令和4年度末)

下水道処理区域図 (令和4年度末)



下水道施設の老朽化・耐震化状況



老朽化の状況 (50年経過管延長)

【令和4年度末】

総延長の**14%**(約325km)

更新しない場合、20年後には…

【令和24年度末】

総延長の**54%**(約1,207km)

老朽管の状況



管の破損・クラック

耐震化の状況

○ 処理場：揚水・沈殿・消毒施設の耐震化率

【H30】

58%

維持※

【R4】

58%

○ 重要な幹線管渠：重要な幹線管渠の耐震化率

43%

2%UP

45%

(令和4年度末の重要な幹線管渠延長は341km)

(138km)

(16km)

(154km)

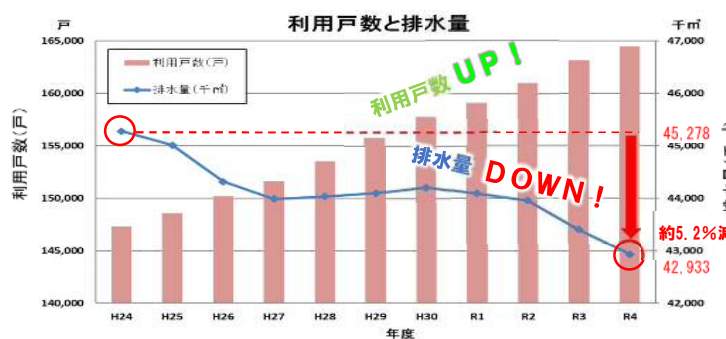
※ 処理場については、老朽化した設備の更新を行っており、今後施設の改築に合わせて耐震化を行う予定です。



供用開始から50年以上が経過した水処理施設

老朽化対策、耐震化を進めるため、今後も計画的に改築・更新に取り組んでまいります。

下水道の利用状況



【令和4年度】

○ 利用戸数
約164,506戸

○ 年間排水量
約4,293万㎡

○ 1戸 月当たり平均
・排水量
約21㎡
(風呂1回200ℓ×105回分)
・下水料金
約3,230円

下水道の利用戸数は増加している一方、人口減少や節水型社会の進展により、さらなる排水量の減少が見込まれる中、今後経営が厳しくなることが予想されるため、事業の効率化や経費の削減に努めるなど、持続可能な下水道事業の運営に取り組んでまいります。

下水料金の算定期間は、「下水料金のあり方について(令和元年度上下水道事業経営審議会答申)」により、令和2年度から令和5年度までの4年間と設定されております。このため、今年度、「下水料金のあり方」について、市内での検討を行い、岐阜市上下水道事業経営審議会において審議していただく予定であります。

1 水道料金、下水料金、受益者負担金の収納状況

【現年度収納率（％）】

令和4年度以前と同水準

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水道料金	98.42	98.49	98.49	98.47	98.33 ※ (98.47)
下水料金	98.32	98.31	98.36	98.33	98.20 ※ (98.33)
受益者負担金	94.57	95.89	95.25	96.39	95.85

※令和5年度は年度末が休日であったことにより、年度末入金分の入金処理が翌年度になったため、当年度の収納率に反映されず、0.14%及び0.13%の低下となっている。

【過年度収納率（％）】

緩やかな上昇

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水道料金	75.65	77.85	68.69	79.35	77.82
下水料金	38.49	40.09	32.20	44.24	46.15
受益者負担金	23.37	20.95	17.49	14.73	22.46

2 収納率向上策

①支払方法の多様化

納付方法の多様化により利便性向上を図っている。
令和6年1月からクレジットカード継続払いを開始。

【納付件数に占める支払方法の割合（％）】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
口座振替	80.0	80.6	80.7	80.6	80.20
クレジットカード	-	-	-	-	0.01
納付書	コンビニ収納 (モバイル決済を含む)	15.4	15.3	15.5	15.9
	窓口納付	4.6	4.1	3.8	3.5

※クレジットカード継続払いの登録件数3,298件。普及件数173,484件に占める割合1.90%（令和6年7月末）

納付しやすい環境の構築と
窓口納付、コンビニ収納より
安定的な納付方法に変換

②滞納整理の強化

ア 水道料金（私債権）⇒ 給水停止を実施

予告通知書・給水停止の増加に伴い、
納入相談件数が増えている

【給水停止予告、実施及び入金・約束件数（件）】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予告通知書 発送件数	5,247	4,451	5,105	5,587	6,466
給水停止 執行件数	515	413	543	614	820
入金・約束件数	4,757	4,062	4,587	5,033	5,694

イ 下水料金（公債権）⇒ 預金差押を実施

【滞納整理実施状況】

740,637円は過年度収納率0.25%相当

令和4年度	預金調査	滞納処分警告書	差押事前通知書	差押え
実施件数	1 件	1 件	1 件	1 件
入金状況 差押えは回収金額	0 円			740,637 円

4,544,146円は過年度収納率1.61%相当

令和5年度	預金調査	滞納処分警告書	差押事前通知書	差押え
実施件数	170 件	79 件	41 件	20 件
入金状況 差押えは回収金額	56 件 3,609,206 円			934,940 円
	計 4,544,146 円			

ウ 受益者負担金（公債権）⇒ 預金差押を実施

【滞納整理実施状況】

602,420円は過年度収納率8.17%相当

令和5年度	預金調査	滞納処分警告書	差押事前通知書	差押え
実施件数	53 件	18 件	12 件	8 件
入金状況 差押えは回収金額	9 件 239,575 円			362,910 円
	計 602,420 円			

③弁護士委託による未収金回収

職員による回収が困難な未収金回収業務を弁護士法人に委託。

より困難な事案が多く
回収率は低下傾向

【水道料金の委託状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託債権額	12,442,360 円	6,822,036 円	4,415,986 円	2,441,529 円	2,686,256 円
回収金額	2,421,210 円	2,537,102 円	776,050 円	211,794 円	167,986 円
回収率	19.5 %	37.2 %	17.6 %	8.7 %	6.3 %
委託費	796,420 円	837,258 円	256,119 円	69,906 円	55,445 円

【下水料金の委託状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託債権額	6,289,529 円	6,226,164 円	6,615,297 円	5,668,948 円	5,056,008 円
回収金額	824,926 円	627,171 円	1,278,351 円	544,594 円	430,358 円
回収率	13.1 %	10.1 %	19.3 %	9.6 %	8.5 %
委託費	270,200 円	206,912 円	421,799 円	179,682 円	141,998 円

調査対象施設

- ① 上下水道事業部で契約がある者
- ② 下水道契約者のうち水道契約がない者（井戸水のみ使用者）

シミュレーションした試算額

令和5年度の下水使用水量（年間）より試算

団体	施設	試算額
岐阜県	・ OKBぎふ清流アリーナ ・ 岐阜県シンクタンク庁舎 ・ 岐阜県警察機動隊 ・ 岐阜羽島警察署 ・ 岐阜県福祉・農業会館 ・ 岐阜県総合教育センター ・ 岐阜県中央家畜保健衛生所 ・ 岐阜県農業技術センター	約577万円
岐阜市 ※1	・ 岐阜市中央卸売市場 ・ 柳津公民館 ・ 旧養護学校	約409万円

※1 岐阜市食肉地方卸売市場は、堤外地にあり下水の使用が無く試算不能

○「令和２年度に策定した財政計画」※と「実績及び今後の見込みと計画」との比較【令和６年度収支見込】

※令和２年度の岐阜市上下水道事業経営審議会答申

(単位：億円)

■：(計画)
■：実績(見込)
■：差

			現料金算定期間										(単位：億円)	実績（見込） ： 差
			R3 決算	R4 決算	R5 見込	R6 見込	R3～6 計	R7 計画	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	
収益的収支	収 入		(54.6)	(54.2)	(53.9)	(53.5)	(216.2)	(53.2)	(52.8)	(52.4)	(51.9)	(51.6)	(51.3)	
			55.3	54.6	54.7	54.0	218.6	53.2	52.8	52.4	51.8	51.3	50.8	
			0.7	0.4	0.8	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.5	
		うち 水道料金	(51.9)	(51.5)	(51.2)	(50.8)	(205.4)	(50.5)	(50.2)	(49.9)	(49.5)	(49.2)	(48.9)	
			52.2	51.7	51.2	50.9	206.0	50.3	49.9	49.5	49.0	48.5	48.0	
			0.3	0.2	0.0	0.1	0.6	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.9	
	支 出		(45.1)	(45.3)	(45.2)	(45.1)	(180.7)	(45.8)	(45.6)	(45.7)	(45.0)	(45.3)	(45.2)	
			44.7	47.7	45.9	49.2	187.5	48.5	49.7	49.8	50.3	50.2	51.3	
			▲ 0.4	2.4	0.7	4.1	6.8	2.7	4.1	4.1	5.3	4.9	6.1	
		うち 物件費等	(10.1)	(10.1)	(10.0)	(10.0)	(40.2)	(9.9)	(9.9)	(9.9)	(9.8)	(9.8)	(9.8)	
			10.1	13.4	12.0	13.9	49.4	12.7	12.9	13.1	13.2	13.4	13.5	
			0.0	3.3	2.0	3.9	9.2	2.8	3.0	3.2	3.4	3.6	3.7	
純損益		(9.5)	(8.9)	(8.7)	(8.4)	(35.5)	(7.4)	(7.2)	(6.7)	(6.9)	(6.3)	(6.1)		
		10.6	6.9	8.8	4.9	31.2	4.7	3.2	2.5	1.4	1.1	▲ 0.5		
		1.1	▲ 2.0	0.1	▲ 3.5	▲ 4.3	▲ 2.7	▲ 4.0	▲ 4.2	▲ 5.5	▲ 5.2	▲ 6.6		
資本的収支	収 入		(20.2)	(22.0)	(22.4)	(18.5)	(83.1)	(16.6)	(14.7)	(14.7)	(14.9)	(11.9)	(16.1)	
			15.0	18.4	26.4	29.8	89.6	19.8	21.1	15.9	17.1	18.0	16.3	
			▲ 5.2	▲ 3.6	4.0	11.3	6.5	3.2	6.4	1.2	2.2	6.1	0.2	
		うち 企業債	(18.7)	(20.2)	(19.3)	(16.8)	(75.0)	(15.1)	(13.0)	(12.4)	(12.5)	(10.7)	(15.0)	
			11.7	15.6	23.1	26.6	77.0	17.7	19.0	13.8	15.0	16.0	14.3	
			▲ 7.0	▲ 4.6	3.8	9.8	2.0	2.6	6.0	1.4	2.5	5.3	▲ 0.7	
	支 出		(55.1)	(53.0)	(55.4)	(55.7)	(219.2)	(48.7)	(48.9)	(48.4)	(47.6)	(42.4)	(50.0)	
			52.0	48.5	59.9	65.3	225.7	55.3	58.2	52.0	53.1	52.2	50.4	
			▲ 3.1	▲ 4.5	4.5	9.6	6.5	6.6	9.3	3.6	5.5	9.8	0.4	
		うち 建設改良費	(33.4)	(31.1)	(34.7)	(35.5)	(134.7)	(29.2)	(29.8)	(29.9)	(29.6)	(25.7)	(34.0)	
			30.3	26.7	39.2	45.2	141.4	35.6	38.9	33.6	35.7	35.9	34.4	
			▲ 3.1	▲ 4.4	4.5	9.7	6.7	6.4	9.1	3.7	6.1	10.2	0.4	
	収支不足(補てん額)		(34.9)	(31.0)	(33.0)	(37.2)	(136.1)	(32.1)	(34.2)	(33.7)	(32.7)	(30.5)	(33.9)	
			37.0	30.1	33.5	35.5	136.1	35.5	37.1	36.1	36.0	34.2	34.1	
			2.1	▲ 0.9	0.5	▲ 1.7	0.0	3.4	2.9	2.4	3.3	3.7	0.2	
	補てん財源残高		(10.7)	(13.6)	(14.5)	(11.2)	－	(13.2)	(12.6)	(12.5)	(12.6)	(15.0)	(14.2)	
			14.2	18.5	16.7	16.3	－	12.3	7.2	1.8	▲ 4.0	▲ 8.8	▲ 13.4	
			3.5	4.9	2.2	5.1	－	▲ 0.9	▲ 5.4	▲ 10.7	▲ 16.6	▲ 23.8	▲ 27.6	
企業債現在高		(297.5)	(295.8)	(294.4)	(291.0)	－	(286.6)	(280.5)	(274.4)	(268.9)	(262.9)	(261.9)		
		288.5	282.3	284.7	291.2	－	289.3	289.0	284.4	282.2	281.8	280.2		
		▲ 9.0	▲ 13.5	▲ 9.7	0.2	－	2.7	8.5	10.0	13.3	18.9	18.3		

1 労務費について

- ◆岐阜県が公表している「実施設計書に使用する単価表」に記載されている労務費
- ◆水道管路工事に必要な主な労務費は、令和6年度では令和2年度に比べ、**19%上昇**
- ◆水道施設工事に必要な主な労務費は、令和6年度では令和2年度に比べ、**15%上昇**

【単位：円】

水道管路	R2	R3	R4	R5	R6	R6/R2
特殊作業員	22,800	22,800	23,200	24,300	26,600	117%
普通作業員	20,300	20,300	20,600	22,100	23,500	116%
運転手 (特殊)	23,600	23,600	24,600	26,500	28,300	120%
運転手 (普通)	20,400	20,500	21,500	23,200	24,500	122%
土木一般 世話役	24,100	24,700	25,900	27,400	29,300	122%
交通誘導 警備員A	14,600	14,700	15,200	16,500	18,400	126%
交通誘導 警備員B	13,100	13,100	13,600	14,300	15,900	121%
配管工	21,500	21,600	22,100	22,900	24,200	113%
平均	20,050	20,163	22,100	22,150	23,838	119%
労務費平均の比 R2年度を1とする	100%	101%	104%	110%	119%	

【単位：円】

水道施設	R2	R3	R4	R5	R6	R6/R2
電気	21,600	21,600	22,100	22,700	23,800	110%
電気通信 技術者	31,800	31,900	33,100	34,500	36,300	114%
設備機械工	24,800	24,800	25,400	27,200	29,000	117%
機械設備 据付工	24,000	24,400	25,600	26,800	28,300	118%
平均	25,500	25,675	26,550	27,800	29,350	115%
労務費平均の比 R2年度を1とする	100%	100%	104%	109%	115%	

2 材料費について

- ◆「建設物価」および「積算資料」に掲載されている材料費
- ◆水道管路工事に必要な主な材料費は、令和6年度では令和2年度に比べ、**22%上昇**
- ◆水道施設工事に必要な主な材料費は、令和6年度では令和2年度に比べ、**38%上昇**

【単位：円】

水道管路	R2	R3	R4	R5	R6	R6/R2
ポリエチレン管 (直管φ50)	5,240	5,240	5,510	5,900	5,900	113%
ポリエチレン管 (直管φ75)	10,000	10,000	10,500	11,300	11,300	113%
グダリル鋼鉄管 (直管φ75)	17,500	17,500	19,200	23,100	23,100	132%
グダリル鋼鉄管 (直管φ100)	28,600	28,600	31,500	34,700	34,700	121%
グダリル鋼鉄管 (直管φ150)	49,800	49,800	54,700	60,200	60,200	121%
平均	22,228	22,228	24,282	27,040	27,040	122%
材料費平均の比 R2年度を1とする	100%	100%	109%	122%	122%	

【単位：円】

水道施設	R2	R3	R4	R5	R6	R6/R2
変圧器	3,260,000	3,260,000	3,260,000	4,500,000	4,500,000	138%
水中ポンプ (井戸用)	2,234,000	2,446,000	2,446,000	2,446,000	3,094,000	138%
平均	2,747,000	2,853,000	2,853,000	3,473,000	3,797,000	138%
材料費平均の比 R2年度を1とする	100%	104%	104%	126%	138%	

3 施工単価について

- ◆水道管路工事の1mあたりの施工単価は、令和5年度では令和2年度に比べ、**28%増加**

水道管路	R2	R3	R4	R5
工事費(円)	2,016,389,956	2,273,579,682	2,138,132,252	2,449,504,287
整備延長(m)	28,555	27,566	26,355	27,045
施工単価(円/m)	70,614	82,478	81,128	90,571
施工単価の比 R2年度を1とする	100%	117%	115%	128%

■ 水道事業 財政計画改定(案)

■ 水道事業 財政計画改定(案)								現行料金算定期間				次期料金算定期間				水道料金 9.58%改定 (単位:億円)									
区 分		H27 決算	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 計画	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	R13 計画	R14 計画	R15 計画	R16 計画	H27-R6 平均	R7-R16 平均	R7-R16 累計	
収益の収支	収 入	1	55.7	55.6	55.3	55.6	55.3	55.9	55.3	54.6	54.7	54.0	58.0	57.6	57.1	56.5	55.9	55.4	54.8	54.1	53.4	52.9	54.7	57.3	555.7
	うち水道料金	2	52.6	52.6	52.6	52.7	52.4	52.8	52.2	51.7	51.2	50.9	55.0	54.7	54.2	53.7	53.1	52.6	52.0	51.3	50.7	50.2	51.5	54.4	527.5
	(改定前)	2(2)											50.3	49.9	49.5	49.0	48.5	48.0	47.5	46.9	46.2	45.8		49.7	481.6
	(料金改定分)	2(3)											4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.4		4.7	45.9
	うち一般会計繰入金	3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	1.0
	うち長期前受金戻入	4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.5	2.4	23.3
	支 出	5	46.5	46.2	45.6	46.5	46.1	44.5	44.7	47.7	45.9	49.2	48.6	49.7	49.8	50.3	50.2	51.3	51.3	51.9	52.3	52.8	46.9	49.6	508.2
	うち人件費	6	7.0	7.1	6.2	6.2	6.5	6.3	6.3	6.1	5.8	6.2	5.8	6.4	5.8	6.4	5.8	6.2	5.8	6.3	6.3	6.4	6.1	6.1	61.2
	うち委託料	7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.3	3.7	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.3	3.2	33.5
	うち修繕費	8	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.6	3.4	3.0	3.2	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7	3.3	3.3	34.9
	うち動力費	9	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	5.4	3.8	3.6	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	3.9	5.0	49.9	
	うち減価償却費、資産減耗費	10	21.8	22.0	22.2	23.0	23.0	23.3	23.5	23.8	23.9	24.9	26.0	26.3	27.0	26.8	27.2	27.6	27.9	28.0	28.2	28.4	24.0	26.5	273.4
	うち支払利息	11	8.1	7.5	7.0	6.4	5.9	5.3	4.8	4.4	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.3	3.9	38.4
	経 常 損 益	12	9.2	9.4	9.8	9.0	9.2	11.4	10.6	6.9	8.8	4.9	9.5	8.0	7.3	6.2	5.8	4.1	3.6	2.2	1.1	0.1	7.8	7.8	47.9
	特 別 損 益	13	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	純 損 益	14	9.2	9.4	9.8	9.0	9.1	11.5	10.6	6.9	8.8	4.9	9.5	8.0	7.3	6.2	5.8	4.1	3.6	2.2	1.1	0.1	7.8	7.8	47.9
利益剰余金	15	18.1	18.3	19.0	24.7	18.9	20.5	19.7	18.4	19.4	11.9	18.3	12.9	16.8	14.2	13.1	10.3	9.4	6.3	4.7	2.3	17.4	15.6	108.3	
うち繰越利益剰余金	16	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
うち利益処分額	17	9.2	18.3	9.8	9.0	9.1	11.5	10.6	6.9	8.8	5.0	9.5	8.0	7.3	6.2	5.8	4.1	3.6	2.2	1.1	0.1	7.8	7.8	47.9	
うち変動額	18	0.0	0.0	9.2	15.7	9.8	9.0	9.1	11.5	10.6	6.9	8.8	4.9	9.5	8.0	7.3	6.2	5.8	4.1	3.6	2.2	9.5	7.8	60.4	
資本的収支	収 入	19	16.2	16.7	17.7	14.7	13.3	14.1	15.0	18.4	26.4	29.8	19.8	21.1	15.9	17.1	18.0	16.3	18.1	17.2	19.4	20.7	22.4	18.5	183.6
	うち企業債	20	13.5	14.2	14.7	11.9	11.3	12.0	11.7	15.6	23.1	26.6	17.7	19.0	13.8	15.0	16.0	14.3	16.0	15.2	17.3	18.8	19.3	16.4	163.1
	うち一般会計繰入金	21	0.8	0.8	0.6	0.7	0.5	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	4.4
	うち出資金	22	1.5	1.1	1.6	1.1	0.0	0.6	1.3	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
	支 出	23	44.3	46.5	48.6	46.6	46.6	46.2	52.0	48.5	59.9	65.3	55.3	58.2	52.0	53.1	52.2	50.4	51.0	49.3	50.7	51.4	56.4	54.7	523.6
	うち建設改良費	24	22.5	24.4	26.7	24.6	24.8	24.5	30.3	26.7	39.2	45.2	35.6	38.9	33.6	35.7	35.9	34.4	34.6	34.3	36.1	37.1	35.4	36.0	356.2
	うち企業債償還金	25	21.8	22.1	21.8	22.0	21.8	21.7	21.7	21.8	20.7	20.1	19.7	19.3	18.4	17.4	16.2	16.0	16.3	14.9	14.5	14.3	21.1	18.7	167.0
収支不足(補てん)額	26	28.1	29.8	30.9	31.9	33.3	32.1	37.0	30.1	33.5	35.5	35.5	37.1	36.1	36.0	34.2	34.1	32.9	32.1	31.3	30.7	34.0	36.2	340.0	
補てん財源残高		27	10.4	11.0	17.7	18.0	16.3	16.1	14.2	18.5	16.7	16.3	12.3	12.0	11.4	10.3	10.2	10.3	10.2	10.4	10.4	10.2	年度末:10億以上		
企業債現在高		28	343.8	335.9	328.7	318.7	308.2	298.5	288.5	282.3	284.7	291.2	289.3	289.0	284.4	282.1	281.8	280.2	279.9	280.2	282.9	287.4	R11末:270億以下		
<目標値> 経営戦略 R11:270億円以下																270.0									

企業債元利償還金	29	29.9	29.6	28.8	28.4	27.7	27.0	26.5	26.2	24.7	24.1	23.6	23.2	22.3	21.2	20.1	19.8	20.2	18.7	18.4	18.2
(水道料金に対する割合)	30	56.9%	56.3%	54.8%	53.8%	52.8%	51.2%	50.9%	50.6%	48.3%	47.2%	42.9%	42.4%	41.2%	39.4%	37.8%	37.6%	38.8%	36.4%	36.3%	36.2%

(注)端数処理の関係上、表中の数値間で計算した値と一致しない場合があります。12

■ 水道事業 財政計画（現行料金による財政計画）

■ 水道事業 財政計画（現行料金による財政計画）								現行料金算定期間				次期料金算定期間				水道料金 改定なし (単位:億円)											
区 分		H27 決算	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 計画	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	R13 計画	R14 計画	R15 計画	R16 計画	H27-R6 平均	R7-R16 平均	R7-R16 累計			
収益的収支	収 入	1	55.7	55.6	55.3	55.6	55.3	55.9	55.3	54.6	54.7	54.0	53.3	52.8	52.4	51.8	51.3	50.8	50.2	49.6	49.0	48.5	54.7	52.6	509.7		
	うち水道料金	2	52.6	52.6	52.6	52.7	52.4	52.8	52.2	51.7	51.2	50.9	50.3	49.9	49.5	49.0	48.5	48.0	47.5	46.9	46.2	45.8	51.5	49.7	481.6		
	（改定前）	2(2)											50.3	49.9	49.5	49.0	48.5	48.0	47.5	46.9	46.2	45.8		49.7	481.6		
	（料金改定分）	2(3)											0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
	うち一般会計繰入金	3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	1.0		
	うち長期前受金戻入	4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.5	2.4	23.3		
	支 出	5	46.5	46.2	45.6	46.5	46.1	44.5	44.7	47.7	45.9	49.2	48.6	49.7	49.8	50.3	50.2	51.3	51.3	51.9	52.3	52.8	46.9	49.6	508.2		
	うち人件費	6	7.0	7.1	6.2	6.2	6.5	6.3	6.3	6.1	5.8	6.2	5.8	6.4	5.8	6.4	5.8	6.2	5.8	6.3	6.3	6.4	6.1	6.1	61.2		
	うち委託料	7	2.6	2.8	2.8	2.8	3.2	2.7	2.9	3.1	3.3	3.7	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.3	3.2	33.5		
	うち修繕費	8	2.8	2.9	3.2	3.4	3.1	2.7	3.1	3.6	3.4	3.0	3.2	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7	3.3	3.3	34.9		
	うち動力費	9	2.9	2.5	2.7	3.1	2.7	2.5	2.6	5.4	3.8	3.6	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	3.9	5.0	49.9		
	うち減価償却費、資産減耗費	10	21.8	22.0	22.2	23.0	23.0	23.3	23.5	23.8	23.9	24.9	26.0	26.3	27.0	26.8	27.2	27.6	27.9	28.0	28.2	28.4	24.0	26.5	273.4		
	うち支払利息	11	8.1	7.5	7.0	6.4	5.9	5.3	4.8	4.4	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	4.3	3.9	38.4		
	経 常 損 益	12	9.2	9.4	9.8	9.0	9.2	11.4	10.6	6.9	8.8	4.9	4.7	3.2	2.5	1.4	1.1	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 2.3	▲ 3.3	▲ 4.3	7.8	3.0	1.6		
	特 別 損 益	13	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	純 損 益	14	9.2	9.4	9.8	9.0	9.1	11.5	10.6	6.9	8.8	4.9	4.7	3.2	2.5	1.4	1.1	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 2.3	▲ 3.3	▲ 4.3	7.8	3.0	1.6		
	利益剰余金	15	18.1	18.3	19.0	24.7	18.9	20.5	19.7	18.4	19.4	11.9	13.5	8.1	7.2	4.6	3.6	0.9	▲ 0.3	▲ 3.7	▲ 7.0	▲ 11.4	17.4	8.4	15.5		
	うち繰越利益剰余金	16	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.5	▲ 1.4	▲ 3.7	▲ 7.0	▲ 11.4	0.0	0.0	▲24.0		
うち利益処分額	17	9.2	18.3	9.8	9.0	9.1	11.5	10.6	6.9	8.8	5.0	4.7	3.2	2.5	1.4	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	3.0	12.9			
うち変動額	18	0.0	0.0	9.2	15.7	9.8	9.0	9.1	11.5	10.6	6.9	8.8	4.9	4.7	3.2	2.5	1.4	1.1	0.0	0.0	0.0	9.5	5.4	26.6			
資本的収支	収 入	19	16.2	16.7	17.7	14.7	13.3	14.1	15.0	18.4	26.4	29.8	19.8	21.1	15.9	17.1	18.0	16.3	18.1	17.2	19.4	20.7	22.4	18.5	183.6		
	うち企業債	20	13.4	14.1	14.6	11.8	11.2	11.9	11.7	15.6	23.1	26.6	17.7	19.0	13.8	15.0	16.0	14.3	16.0	15.2	17.3	18.8	19.3	16.4	163.1		
	うち一般会計繰入金	21	0.8	0.8	0.6	0.7	0.5	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.5	4.4		
	うち出資金	22	1.5	1.1	1.6	1.1	0.0	0.6	1.3	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0		
	支 出	23	44.3	46.5	48.6	46.6	46.6	46.2	52.0	48.5	59.9	65.3	55.3	58.2	52.0	53.1	52.2	50.4	51.0	49.3	50.7	51.4	56.4	54.7	523.6		
	うち建設改良費	24	22.5	24.4	26.7	24.6	24.8	24.5	30.3	26.7	39.2	45.2	35.6	38.9	33.6	35.7	35.9	34.4	34.6	34.3	36.1	37.1	35.4	36.0	356.2		
	うち企業債償還金	25	21.8	22.1	21.8	22.0	21.8	21.7	21.7	21.8	20.7	20.1	19.7	19.3	18.4	17.4	16.2	16.0	16.3	14.9	14.5	14.3	21.1	18.7	167.0		
収支不足(補てん)額	26	28.1	29.8	30.9	31.9	33.3	32.1	37.0	30.1	33.5	35.5	35.5	37.1	36.1	36.0	34.2	34.1	32.9	32.1	31.3	30.7	34.0	36.2	340.0			
補てん財源残高		27	10.4	11.0	17.7	18.0	16.3	16.1	14.2	18.5	16.7	16.3	12.3	7.2	1.8	▲ 4.0	▲ 8.8	▲ 13.4	▲ 17.6	▲ 21.0	▲ 23.3	▲ 24.5	年度末:10億以上				
企業債現在高		28	343.8	335.9	328.7	318.7	308.2	298.5	288.5	282.3	284.7	291.2	289.3	289.0	284.4	282.1	281.8	280.2	279.9	280.2	282.9	287.4	R11末:270億以下				
												＜目標値＞ 経営戦略 R11:270億円以下				270.0											

企業債元利償還金	29	29.9	29.6	28.8	28.4	27.7	27.0	26.5	26.2	24.7	24.1	23.6	23.2	22.3	21.2	20.1	19.8	20.2	18.7	18.4	18.2
（水道料金に対する割合）	30	56.9%	56.3%	54.8%	53.8%	52.8%	51.2%	50.9%	50.6%	48.3%	47.2%	47.0%	46.5%	45.1%	43.3%	41.4%	41.2%	42.5%	39.9%	39.8%	39.7%

（注）端数処理の関係上、表中の数値間で計算した値と一致しない場合があります。